

市内中小企業の新たな発展モデルの構築を目指す交流会

付加価値の高い物流拠点の整備

令和元年10月10日（木）
幸栄公民館 講座室2号室

本日の議論を進めるにあたって

- ✓ 本日で4回目であるため、これまでの議論も参考に、具体的な数値や機能などについて話し合い情報を整理していきたい。

本日の論点

1 付加価値の高い物流拠点に必要な機能とは。

【これまで議論で出た内容】

(川口市の立地特性等を活かし) 研究開発拠点、製品ショールームなど

2 新たな雇用創出など地域に貢献するためには。

(例) 物流施設と併設することで相乗効果が生まれる業種など

(参考) 3月交流会ディスカッション結果

1 大企業に無い付加価値の高い物流拠点の機能と土地、周辺環境の要件について

(1) 機能

- ・ 製造業と連携
- ・ 雇用の創出に繋がるもの
- ・ 土地の利活用ができるもの

(2) 要件

- ・ 高速道路の近くで、交通の便の良い場所
- ・ 広さ：1,000坪～2,000坪
- ・ 道路、ライフラインの整備状況

2 今後の展開について

- 候補地を決定するまでのスケジュールを作成
- 製造業連携方法について検討する
- 用途地域の変更や地権者（農家）との交渉方法等も検討する

(参考) 5月交流会ディスカッション結果

1 市外に生産拠点が移転する理由について

- 製造業は顧客目線に合わせて製造拠点を立地する
- 業務拡大や製品が大きくなるに応じて、より広い面積の工場用地が必要になると、川口確保するのは難しい
- 川口では、求める規模の土地が見つからず（1000坪程）、見つかったても、倉庫業しか出来ないなど制限がある

2 市内への誘致は価格・物流網等のハードルが高いのか

- (弱点) 価格=高い、まとまった面積の土地もない
- (強み) 物流網として高速に近い、都心に近いのは強み

3 物流事業者として、生産環境を向上させる方策はあるか

- 出荷作業の効率化が出来る機能
 - …製品のコンテナをサイズに合わせて上下できる機能等
- 出荷ミス防止の機能…サイズ違いや製品個数違い防止等

(参考) 7月交流会ディスカッション結果

1 どのような条件であれば市内へ生産拠点が誘致できるか

- ・ 研究開発拠点や製品ショールームとしての機能をもった物流施設であれば、製造拠点が地方でも、顧客に対して製品や試作品を見せることが可能になるので魅力的。

2 川口市に条件に見合う「土地」はあるのか

- ・ 価格、面積、土地活用の制限などハードルは高い。
- ・ 一方、不動産業界、物流業界が組合等を通じて制度理解を深め情報共有することが出来れば、まとまった土地活用の可能性もある。
- ・ 行政とも勉強会等を通じて理解を深めていきたい。

3 物流事業者として、生産環境を向上させる方策はあるか

- ・ 製造業の重機がそのまま移転できる規模の施設、労働者に配慮した機能など。